

## 1997年1月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

北半球 500 hPa 高度場を見ると、高緯度では波数3の偏差パターンが見られ、アイスランドからヨーロッパ東部にかけてと東シベリアおよびカナダ西部が正偏差域に、北極海からロシア西部にかけてとアラスカおよびラブラドル半島付近が負偏差域に覆われた。850 hPa での赤道上空の風は、3か月連続して太平洋全域で東風偏差となっている。対流活動は、インド洋から西部太平洋の10~20°Sの緯度帯で平年より活発である一方、赤道インド洋や中部・東部赤道太平洋では平年より不活発で、対流活動の中心が全体として5~10度南にずれていた。

### 世界の天候

#### ① オホーツク海周辺の高温

東アジアやシベリアではほぼ全域で月平均気温が平年より高く、オホーツク海沿岸などでは高温となった。

#### ② 南シナ海周辺の少雨

インドシナ半島では少雨となったところがあった。中国の新疆ウイグル自治区の吹雪、インドネシアの大雨により洪水被害が伝えられた。

#### ③ ヨーロッパの少雨

ドイツなどヨーロッパ中部を中心に前月後半から当月半ばにかけて気温が低く降水量が少ない状態が続き、寒波や吹雪の被害が伝えられた。一方、地中海沿岸では大雪や大雨による被害が報じられた。

#### ④ アフリカ西部の高温

アフリカ南部を除いて月平均気温がアフリカのほぼ全域で平年より高く、アフリカ西部では高温となった。アフリカ南部の月降水量が一部では平年の3倍を超えた。マダガスカルではサイクロンの被害が伝えられた。

#### ⑤ 北アメリカ北東部の多雨

#### ⑥ アメリカ合衆国中西部の少雨

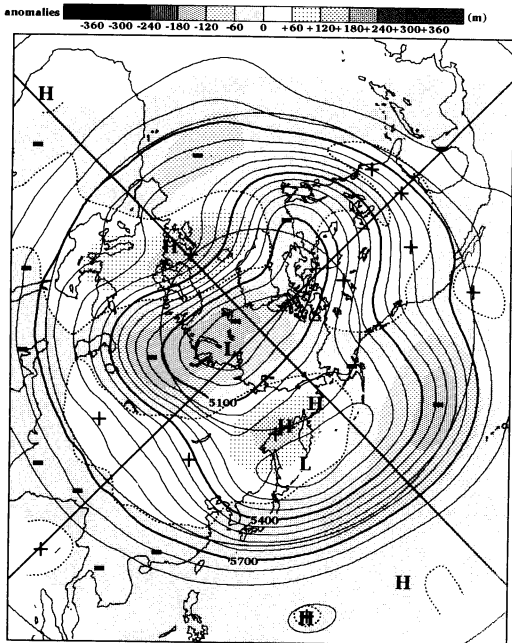
アメリカ合衆国ではしばしば寒波があり、各地で吹雪や低温による農業や畜産業の被害が伝えられた。年末から続いているカリフォルニア州の洪水被害は最悪と伝えられた。下旬にはテネシー州の竜巻被害が伝えられた。

#### ⑦ アルゼンチン北部の高温

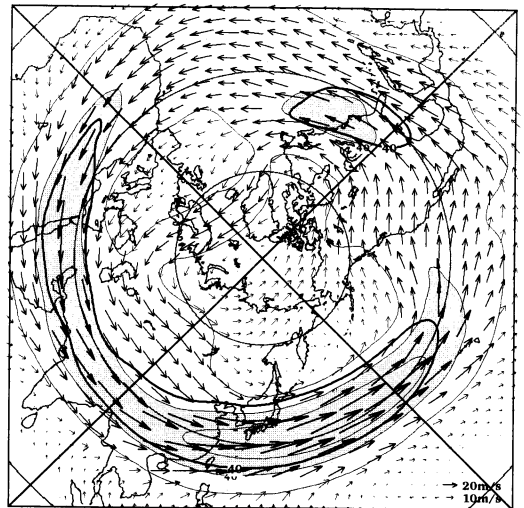
#### ⑧ オーストラリア北部の低温

オーストラリア北部では低温となった。島嶼では月平均気温が平年より高いところが多かった。

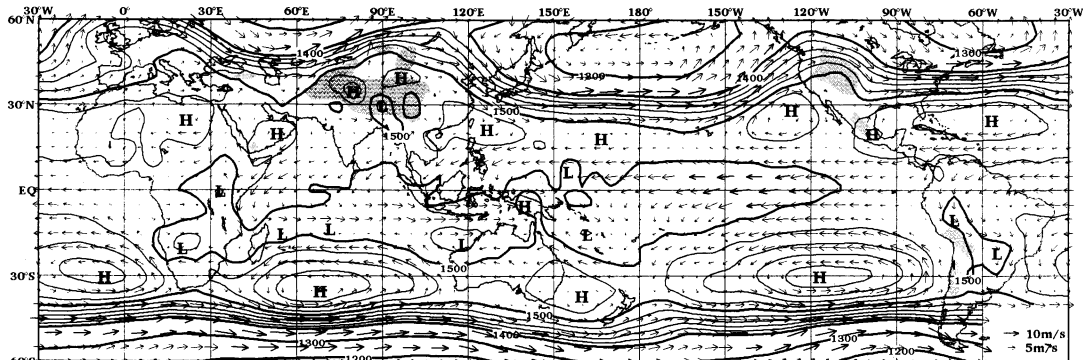
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 徳広貴之)



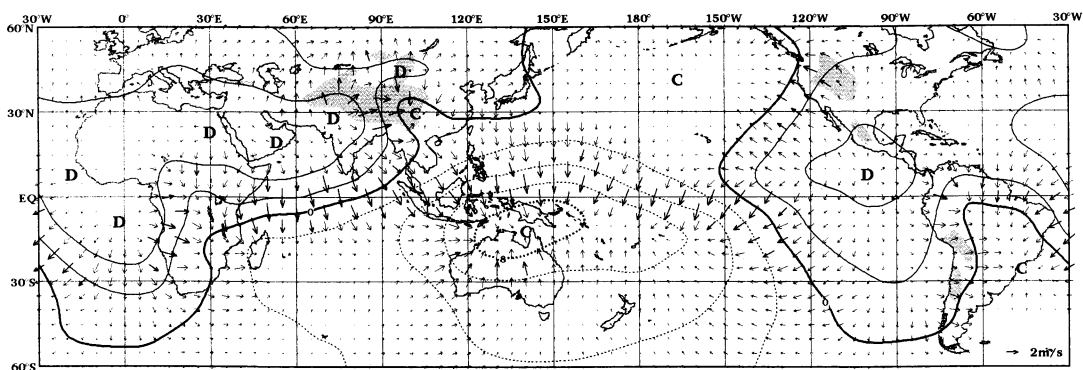
1997年1月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差等値線間隔、偏差パターン間隔は60 m、平年値は1961~1990年のデータに基づくもの。



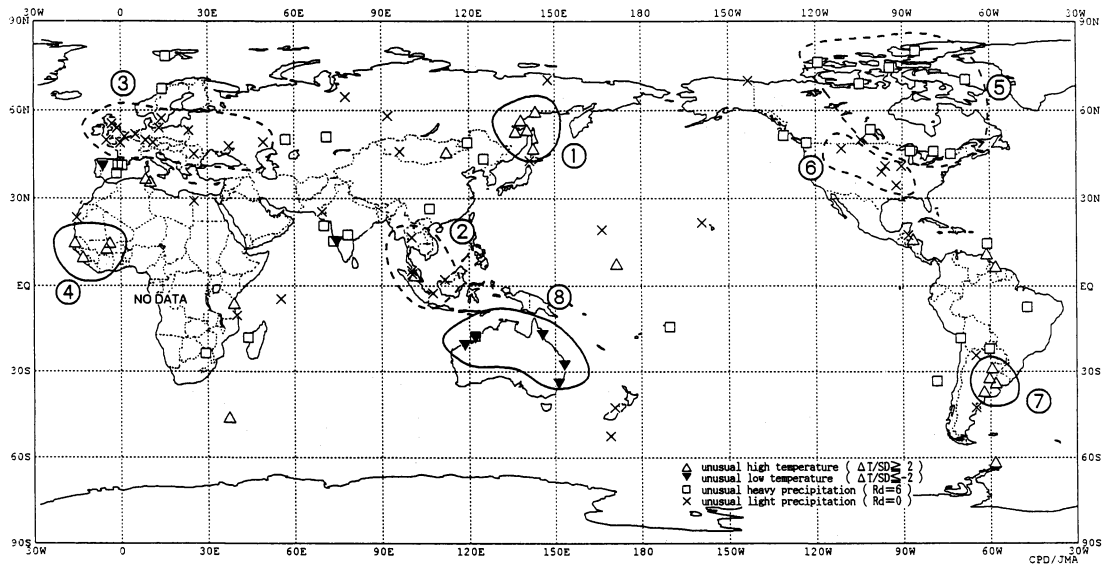
1997年1月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル等値線間隔は20 m/s、陰影部は平年で40 m/s以上、平年値は1979~1990年のデータに基づくもの。



1997年1月の月平均850 hPa 高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 m までは100 m)



1997年1月の月平均200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は  $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



1997年1月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位置が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.